

Kiso-GISによる

『土木建築施設管理システム』

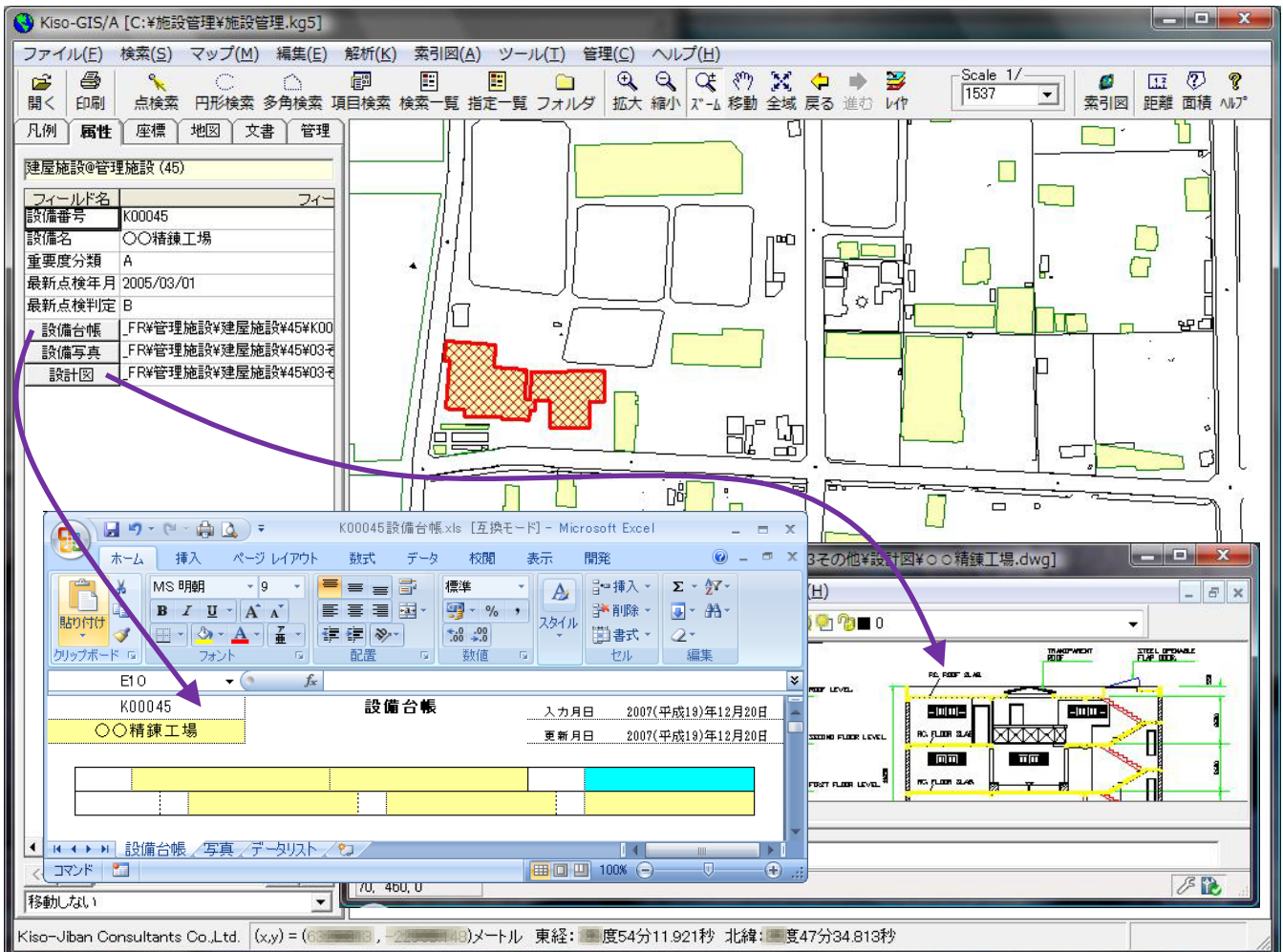
**手軽に・簡単に・安価に！
無理せず続けられる施設管理始めませんか…**

5大機能・・・弊社独自のアイデア

- **既存施設台帳**との親和性 ⇒ 手書き/PDF/Excel 等で作成された既存台帳を最大限に生かします
- **多様な電子化資料**を簡単管理 ⇒ 設計・施工図/報告書など電子化された管理情報を簡単に関連付け
- **不定型管理資料**も簡単管理 ⇒ フォルダ連携機能により管理種類・形式が決められない場合でもOK！
- **点検改修履歴**を時系列管理 ⇒ テーブル連携機能により施設管理に必須な時系列情報を簡単管理
- **地盤(ボーリング)情報**を管理 ⇒ 土木建築施設管理には必須の充実した地盤情報管理機能を提供

早く使いやすい充実のGIS機能

- 多彩な地図をシームレスに使用可能…構内図1枚(紙地図あるいはCAD)から始められます
- 高速な描画GISエンジンを搭載(SuperMap Objects 5:日本スーパーマップ株式会社製)
- 基本機能の充実:施設管理に必要な機能をわかりやすい操作で実現
- 印刷機能の充実:精緻な印刷をわかりやすい操作で実現(プレビューしながら位置と縮尺を指定)
- PC1台から始めてネットワーク対応(Client/Server)による情報共有まで使いながらStepUP!!



フォルダ連携機能…管理対象とPCフォルダが連携（不定型の施設情報管理が簡単！！）

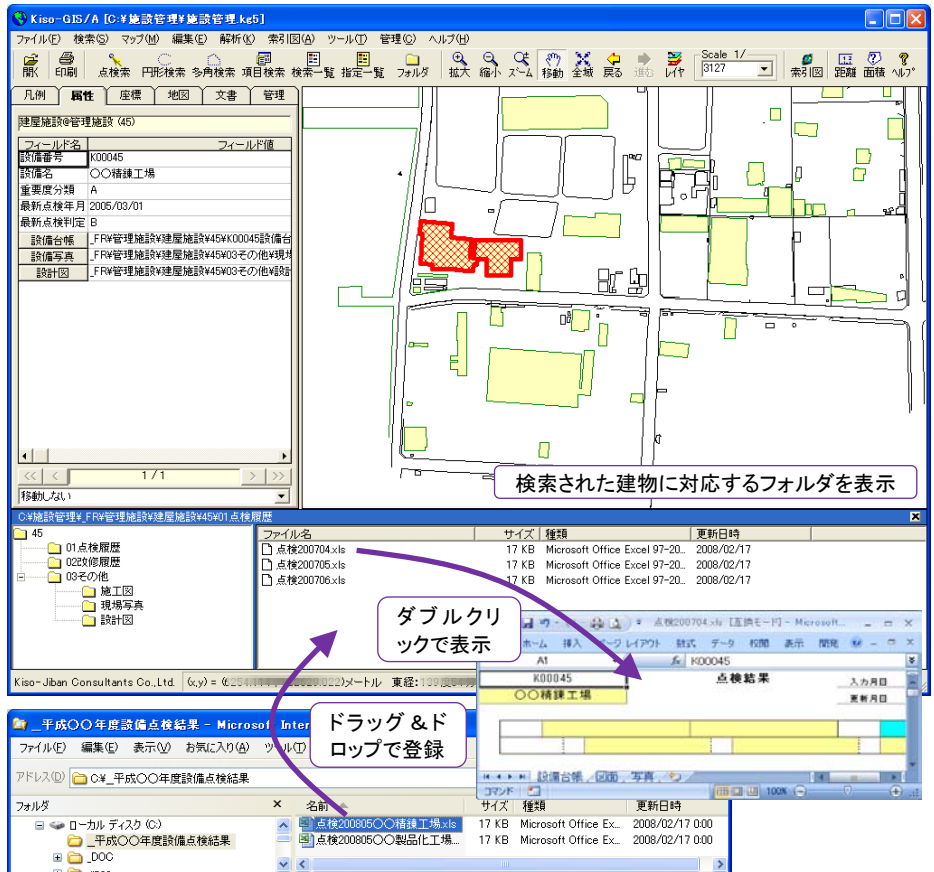
「土木建築の世界では維持管理に必要な情報を前もって決められないことが多いし何が来るかわからない。だからデータベース(GIS)で管理できない。」…こんなエンドユーザの声から生まれた機能です。

管理対象地物一つ一つにPCのフォルダが連携します（ファイルエクスプローラに地図が連動しているイメージです）。

地物を選択すると対応するフォルダが表示されるため、関連するファイルの登録はドラッグ&ドロップするだけです。関連するファイルの表示はダブルクリックするだけです。

使っているうちに定型部分が決まってくる場合は、その部分を後述のテーブル連携機能に置き換えていくことも可能です。

「管理地物に関連するファイルはドラッグ&ドロップで投げ込んでおく」ことだけを職員の共通ルールにする事で「これなら続けられる」との声を多くのユーザから頂いています。



テーブル連携機能…時系列など繰り返し情報管理（点検履歴・改修履歴情報管理が簡単！！）

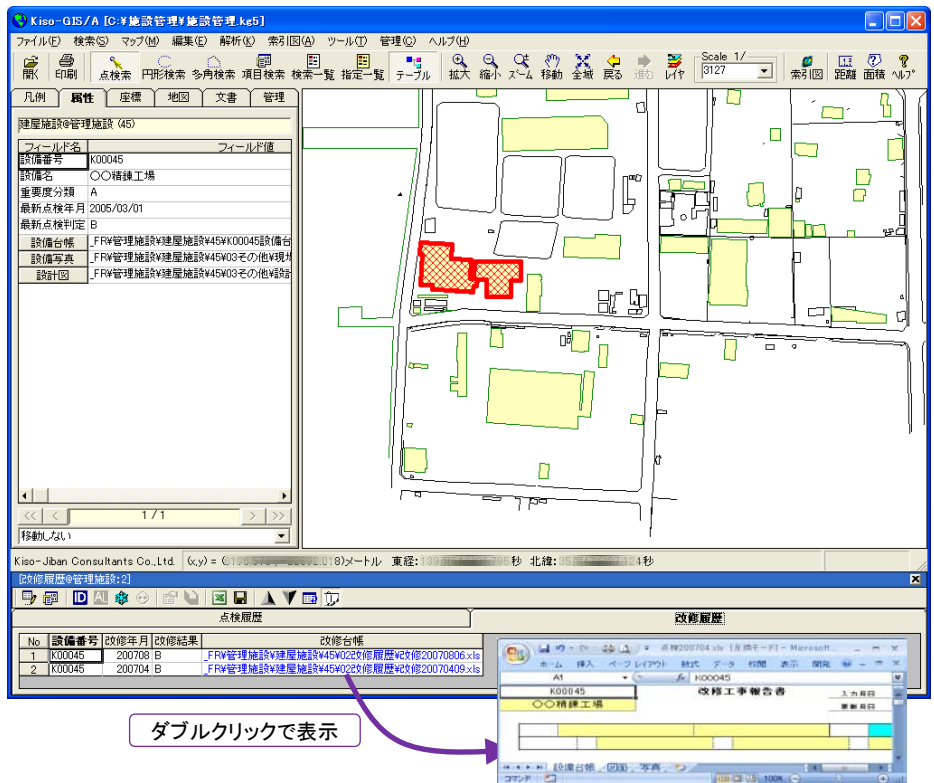
土木建築施設は一般に、多くの点検および改修工事を施すことで、長期間の機能提供を果たします。

点検結果を記載した点検台帳、改修工事結果を記録した改修台帳・施工図などは、各エンジニアリング会社あるいは施工会社からExcel帳票やCADなどで電子化されて納品されます。

これら電子化された履歴情報を簡単に管理対象地物にリンクして管理する機能を提供します。

点検・改修情報を単なる記録として管理するだけでなく積極的に活用し、最小の維持管理コストで長期間安定した機能提供が可能となるよう、土木建築の世界でも「アセットマネジメント」が求められてきています。

一貫した正しい維持管理情報の蓄積なしに「アセットマネジメントの成功」はあり得ません！！



基礎地盤コンサルタンツ株式会社 問い合わせメール：kisogis-info@kiso.co.jp



本社 (03) 6861-8800 北海道支社 (011) 822-4171 東北支社 (022) 291-4191
 関東支社 (03) 5632-6800 中部支社 (052) 589-1051 関西支社 (06) 6536-1591
 中国支社 (082) 238-7227 九州支社 (092) 831-2511 海外事業部 (03) 6861-8885
 担当：保全・防災センター GIS事業部（関東）(03) 6861-8877 / GIS事業部（関西）(0745) 32-6486